



個性満開!
★エリア5



金山川ふれあいまつり

9つの自治区会の共同開催によって行われており、3万人を超す人々が訪れる地域の一大イベントです。

期日：10月中旬頃 場所：永犬丸中央公園



水辺に憩うまち 永犬丸・沖田地区

EINOMARU
OKITA
area

昭和30年代の筑豊電気鉄道の開通や近年の土地区画整理事業の実施により開発された住宅地が共存し、

良好な居住環境を活かした住みやすいまちづくりが進んでいます。

また、地域の中心を流れる「金山川」周辺には多数の化石層や遺跡が散在するとともに、
懐かしい里山も残っており、川の流れが過去から現代へとまちの歴史を伝えています。



金山川アートギャラリー

地域住民や地元の学校などから出展される絵画が川岸を飾り、芸術の秋を彩る地域の風物詩となっています。

期日：9月下旬～10月中旬頃 場所：三ヶ森 金山川川岸

金山川流域(永犬丸～沖田)

地区内を縦走する金山川の川面を眺めながら、多くの人が散歩や釣りを楽しんでいます。また、夏場にはカヌー教室も行われるなど、一年を通じて日々の生活を豊かにしています。



MAP①

MAP①



北浦廃寺

古代の寺院跡（道路の施設ともいわれている）とされており、11～12世紀頃の瓦が大量に発見されています。

園田浦城跡

13世紀から14世紀前半まで使用された城。築城者は不明ですが、居城（領主が普段から住む城）であったと思われます。市内では最も古い山城です。



永犬丸中央公園・金山川周辺

展望台や子ども向け遊具、グラウンドなどを備えた公園です。また、公園横を流れる金山川周辺は緩やかな芝の斜面の護岸、木製デッキ、遊歩道などにより親しみやすい水辺が造られています。平成14年度に国土交通省の「手づくり郷土賞」に選ばれました。



永犬丸貝塚

昭和33年の発掘調査により、縄文時代の前期から後期にかけて長い間にわたって人が住み、縄文時代後期には貝塚が形成されていたことが判明しています。



松本遺跡

弥生時代の前期末から中期初頭の集落跡です。発掘調査の際に、土坑の一つから、北九州地域で初めて青銅器の鋳型が出土しました。



西山池

農業用ため池として利用されてきた池が、多目的灌漑調整池として整備されました。地域住民の憩いの場として活用されています。



役之郷清水ヶ池古駅水

平安時代、現在の上津役・小嶺地域は「役之郷」と呼ばれていました。江戸時代には往来する人馬や村人に利用されていた井戸です。

的場池公園

八幡南部地域のスポーツの拠点として、親しまれています。多目的体育館を中心として、野球場、テニスコート、弓道場が整備されています。



MAP⑦

MAP⑦